

パンフレット「7つの銚子ものがたり」正誤表

本書に下記の通り誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

ページ	行数	訂正前	修正後
P2	3行目	利根川東遷後 江戸で幕府を開府し、	江戸で幕府を開き、
P4	5行目	「海夫」と呼ばれる「香取の海」で漁を生業とする人々	「海夫」と呼ばれる「香取の海」で漁などを生業とする人々
P5	3行目	滑川家住宅長屋門 名主として海運業に従事	名主として水運業等に従事
		庄川左衛門公德碑	庄川左衛門頌徳碑
P8	1行目	渡海神社の極相林 銚子の森は、タブやスダジイが	銚子の森は、タブノキやスダジイが
	1行目	松岸河岸 木下茶船で利根川を下降して、	木下茶船で利根川を下り、
P9		木国会碑	紀國人移住碑
	6行目	旧新生貨物駅跡 さらに、中央市場まで	さらに、中央魚市場まで
		猿田神社 下総国学を発展させた平田篤胤・鉄胤は下総遊歴で多くの門人を受け入れ、その時の資料が猿田神社に残っています。	807年に社殿が建立され、猿田彦大神、天鈿女命、菊理媛命を祀り、創建以来、源頼朝や足利氏、千葉氏など多くの武将の寄進を受けてきました。また、平田篤胤は銚子の文化人らの案内で参詣し、その時の資料が残っています。
P12	6行目	銚子石の風景 ～にある石積みの石垣は、	～にある石垣は、
	2行目	滑川家住宅 椿領や銚子領を中心とした城米運送を幕府から任されていました。	現在の香取郡・匝瑳郡一帯にわたる村々の年貢米輸送に携わっていました。
P14	7行目	これは、周りの船が嵐で転覆しそうになっても、安易に助けの手を出し、災難を広げてしまわないよう自分たちを戒める言葉でした。	これは、周りの船が転覆しそうになっても手を出さず、自分の船は自分で守れ、つまり「自分の身や命は自分で守れ」ということです。
	7行目	千人塚 乗組員の慰霊を供養しています。	乗組員を供養しています。
P15	3行目	飯沼観音 本堂で、	観音堂で、
	6行目	等覚寺 室町時代から江戸時代	桃山時代から江戸時代
		ページ内に使用している参勤交代の挿図については、銚子から参勤交代に出る大名はいないので、適切ではないというご指摘をいただきました。	

※番号は、パンフレットで紹介している文化財等の番号になります。

※行数の欄が空欄の場合は、文化財等の名称の部分になります。